

会 議 録	
会議名	第34回日野市地域公共交通会議
日時	令和元年 6月27日(木) 10:00から12:00まで
会場	日野市役所本庁舎101会議室
出席者	委員 別紙のとおり
	事務局 都市計画課 浅川主幹、伴登主任、高橋主任、川上主事
議題	議事 (1) 平成30年度決算(案)について(協議事項) (2) 令和元年度事業計画(案)について(協議事項) (3) 平成30年度利用状況について(報告事項) (4) その他(報告事項)
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ(会長)</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 平成30年度決算(案)について(協議事項) 事務局から説明(資料1)</p> <p><議決></p> <p>会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度決算(案)について異議ないか。 《異議なし》 ・平成30年度決算(案)について承認した。 <p>(2) 令和元年度事業計画(案)について(協議事項) 事務局から説明(資料2)</p> <p>委員</p> <p>説明の中で、シルバーパス事業での収入があるとのことだが、シルバーパスをコミュニティバスで利用できるというのは異例な話であり、他の大多数の地域ではシルバーパスをコミュニティバスでは利用できない。当然、東京都からの補助金もない。</p> <p>町田市のように路線を大きく見直した場合は、シルバーパスの対象路線ではなくなるという事も気を付けながら、路線を見直さないといけないと思う。</p> <p>⇒お話があった通り、新規路線や大掛かりな見直しを行った路線については、シルバーパ</p>	

スの利用ができないという話は重々承知はしている。それを含めて見直し基準は、当然考えていかなければいけないというご説明だと思うので、重々受け止めて、見直し基準を考えていく。

(事務局回答)

委員

6 ページにある運行収支に緑で「事業者負担額」とあるがどういったものか。

京王バスが負担して、赤字分を持ち出しで運行しているようなものか？

⇒その通りです。

(京王バス回答)

委員

このガイドラインや見直し基準の運用を今年度中に決める話になると思うが、どういう流れで交通会議を開催し、どんな話をしていく予定なのか。

⇒現在の考え方では、次回10月の会議で1回目の案を出す。修正案や意見を踏まえて、1月に修正案を出し、2月の末の会議を最後に決める予定。

(事務局回答)

委員

当初はポンチョ等の車両を使用していたが、利用者数が伸びないのでワゴン型の車両タクシーへの移行をしている自治体もあると聞いている。日野市においても現在ミニバスで走っているが、今後はこういう車体の小型化等も踏まえて見直しを検討する方向なのか。

⇒現状の輸送実績ではワゴン車の対応は無理なので、近々にそうなることは考えられない。ただ、世の中が変わると基準も当然変わっていくので、将来的にワゴン車でも乗りこぼさないような需要になれば、車体の小型化も全く否定はできない。

(事務局回答)

委員

簡単に3点ほど教えてほしい。

1点目。2、3ページの他自治体の見直しフローに「地域組織に運行改善の意思がある」「地域組織に実証運行の継続の意思があるか」という言葉があるが、具体的に地域組織に意思があるという確認をどのようにしているのか。

2点目。8、9ページの見直し基準の設定事例について、「収支率」を基準値としている自治体が多くあり、各自治体の30%～50%で設定しているようだが、現状維持という考え方なのか、縮小なのか拡充なのか、何か行政としての考え方があるのか、わかる範囲で教えてほしい。

3点目。9ページで市川市の事例で、沿道住民にアンケートをして回収率が35%以上であり且つ利用したい方が65%以上であることとある。市川市の自治体の考え方

がわかれば教えてほしい。

⇒地域組織への意思確認については、組織の代表者へのヒアリングや組織との話し合いを行いながら運行改善等について協力する意向があるかどうかを確認する方法が一般的である。

「収支率」の考え方については現状の実績をベースに考え、より高い収支率を目指して基準を設定したり、現状を維持できるような基準に設定している自治体が多いと思う。

市川市の考え方について詳細はわからないが、相模原市の乗合タクシーの手引きでは導入検討の中で区域内の住民意向を調査するためアンケートを行い、回収率が40%満たなければ検討を中止するという内容になっている。市川市についても地域が主体で運行する意向があることを条件としていると考えられる。

(事務局回答)

委員

利用者数自体は増加しているが運行収入の割合が減少しているという話があった。日野市のミニバスはシルバーパスが使えるが、その負担をシルバーパスの利用者にもしていただくようなことも考えないと、収入が今後さらに減っていくような気がするが、何か対策は考えているのか。

⇒行政にも潤沢に予算がある訳ではないため、シルバーパスの利用者にも運賃として100円や200円払って頂いた方が収益の面では良いが、シルバーパスの適用を廃止するとかなりの反感があると想定できる。町田市では運行収支赤字が400万円を超過した路線についてはシルバーパスの適用を廃止し、70歳以上の高齢者が現金100円で乗車できる独自の割引を導入している。最終的には日野市として高齢者に関する福祉などを含めて検討する必要があるので、町田市の事例も参考にし、シルバーパスの適用についても見直し基準の中で当てはめていくかということも含め今年度検討していく。

(事務局回答)

<議決>

会長

- ・令和元年度事業計画(案)について異議ないか。
《異議なし》
- ・令和元年度事業計画(案)について承認した。

(3) 平成30年度利用状況について(報告事項)

事務局から説明(資料3)

意見無し

(4) その他（報告事項）

事務局から説明（資料4）

委員

資料4の6月20日から南平路線の変更について、将来的には南平体育館を含んだルート変更になると思うが、線路を挟んだ南平5丁目の方の方が利用しやすいような状況が生まれたと思う。せっかく利便性も図ったのでそういったことも意識して周知していただけたらと思う。

⇒運行が始まったばかりなのでまだ具体的な数字は揃っていないが、運行初日の南平四丁目の利用者数については乗車客が7名、降車客が8名だった。おそらくまだ始めたばかりでこのバス停が新設されたことも周知しきれてない部分がある。周知の方法も考えながら、利用していただけるように努力をしたい。

（事務局回答）

委員

丘陵地ワゴンタクシーの土日祝日の実証が5月25日開始して約1か月経つが、土日の利用者数はどのような状況か。

⇒まだデータがあまりないが、明星ルートの1日平均利用者数は平日81人に対して休日が30人と半分以下。平山ルートの1日平均利用者数は平日が33人に対して休日が17と約半分といった状況。

会長

他になければ本日の議題は終了です。

（事務局）

最後まで、ありがとうございました。

今後の進め方につきましては、先ほどご承認を頂いたように、見直し基準と地域協働型交通のガイドラインの策定を進めていきます。引き続き忙しい一年となりますがよろしく申し上げます。

次回の会議は10月を予定しております。その際は、事前にご案内をお送りさせていただきますので、お忙しいところとは存じますが、よろしく願いいたします。

以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。長時間にわたりありがとうございました。